

平成 21 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏名 吉田 光次

最終学歴 平成 9 年 3 月 京都大学大学院理学研究科物理学第二専攻博士課程修了

取得学位 博士（理学）

所属学会 日本物理学会

現在の専門分野 原子核・素粒子物理

研究課題 有限温度・有限密度物質の相転移現象

【研究上の特記事項】

【教育上の特記事項】

【社会的活動】

パソコン入門講座（本学主催）、Excel 入門講座（本学主催）

【学内活動】（学内職歴を含む）

ホームページ委員、総合研究所運営委員、情報処理センター運営委員、ネットワーク委員、教養部教務委員、  
広報室アドバイザー

著書、学術論文等の名称	単著、 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
( 著書 )				
( 学術論文 )				
<p>Phase Structure of Thermal QED/QCD:Solution of the DS- quation and its Gauge-Dependence</p>	単	平成21年9月4日	京大基研研究会「熱場の量子論とその応用」	有限温度下でのカイラル相転移のゲージ依存性を解析した。
<p>Phase Structure of Thermal QED/QCD:Solution of the DS- quation and its Gauge-Dependence</p>	単	平成22年3月23日	日本物理学会第 6 5 回 年次大会	有限温度QEDでのカイラル相転移をゲージ依存性を保証するWard恒等式が満たされる条件下で解析した。
( その他 )				